

七月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 072-622-3725

雨の振るのが梅雨と、割り切れない毎日です。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年七月のご案内を申し上げます。

第二百十三回

人生講座

日時 七月十二日 日 昼二時～四時

講師 本願寺派布教使

コソフレット・アテナ・ガブリエラ 師



■大阪市生野区・瑞光寺衆徒。社会主義体制が崩壊していくルーマニアに生まれ育ち、七年前に来日。日本文化に触れる中、瑞光寺奥井海住職の導きで中央仏教学院に入学され、お念仏に出遭われました。

■冷房の効いた本堂でお参りお待ちしております。

●ご本尊は本山よりお迎えしましょう

浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来です。ご本尊には、阿弥陀如来の「絵像」(住職推奨)、もしくは「木像」、または「六字名号」の3種類があります。掛け方は、ご本尊を中央に、向かって右側に十字名号(帰命尽十方無碍光如来)、左側に九字名号(南無不可思議光如来)を掛けます。または、中央にご本尊、右側に親鸞聖人の御影、左側に蓮如上人の御影を掛けます(住職推奨)。本山(西本願寺)参拝部の宝物係に、冥加金をそえて申し出れば交付されます。実費で住職がお取り次ぎいたしますので、ご相談下さい。なお本山から拝受するお掛け軸にはご門主(現在は即如上人)の押印があります。

【参考】三十代(たて約27センチ・よこ約9センチ)

金欄:3万5千円・桐:2万5千円・藤:1万5千円(それぞれ1幅あたり)
※その他のお掛け軸の冥加金については住職までお尋ね下さい。

お盆のお参りは、お早めに。

南無阿弥陀仏をとらふれば

観音・勢至はもろとも

恒沙塵数の菩薩と

かげのごとくに身にそえり

「先祖方を偲びつつ、お陰さま」と感謝の気持ちで、お迎えください。

「家族お揃いでお参りしていただきたく、なるべくご希望に添えるようにいたしますが、お時間の指定までは遠慮下さい。当日の天候や道路事情によりお約束の時間より前後する場合があります。また、初盆をお迎えになる方を優先させていただきます。何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

電話072 622 3725



西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十五条の二)

戦前の行き過ぎ、戦後の反動、どちらも問題が多すぎるようです。国、集団、のために、個人が抑圧され婦人の我慢の上に成り立っていた戦前。個人の権利が保障され、我慢することが美德でも何でもなくなった戦後。ただ共通して言えることは、日本においては、いまだ本当の民主主義は根付いていないということ。欧米諸国を、特に素晴らしいとは思いませんが、それでも生活習慣から宗教まで異なった多民族が同居し、一つの国家を形成しているために、一人一人がはっきりとした自分の生き方、信念を持って生きています。

もともと、浄土真宗は親鸞聖人以来、如来さまに願われている掛け替えのない一人一人を、大切にしてきました。ですから、いわゆる信仰規範がまるでありません。規範はなくても、一人一人が、如来さまに教えられ、導かれて、自分の判断で、見事な一生をおくったのです。世界に誇れる本当の民主主義が生きていたので、そころろが残念なことに、徳川幕府誕生以来、この動きは完全に封じられてしまいました。そして今日、真宗念仏者でありながら、はっきりとした信念もなく、時流に流される人が増えたことは、残念でなりません。

※1988年2月 西福寺だより 掲載

石川欣也先生の
法話のダイヤル 0743-53-4488

八月のご案内

T567-0012
TEL 072-622-3725
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派

64回目の終戦の日が、今年も近づいてきました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年八月のご案内を申し上げます。

う ら ぼん え

盂蘭盆会

日時 八月十五日 土 夜七時～九時
講師 当院住職自動



■ お盆は、盂蘭盆経 の説話による行事です。わが子への愛ゆえに餓鬼道 がきどう に堕ちた母。その母の境涯を知り、苦悩する目連尊者 もくれんそんじや。じゅんじゅんと救済の法を説かれるお釈迦さま 菅純和著 仏事の小箱 。親の恩に思いをいたし、どうぞご家族皆さままでお参り下さい。運動靴と赤い金魚 1997年・イラン 上映予定。

●北御堂(きたみどう)納骨堂のご案内

* * *

親鸞聖人を宗祖と仰ぎ、浄土真宗のみ教えを受け継ぎ、お念仏のみ教えをお伝えくださいました先祖に思いを馳せ、子々孫々まで永く伝えると共に、北御堂参詣を機縁に、念仏生活にいそしまれることを念願し、北御堂納骨所を設置いたしました。津村別院(北御堂)の納骨には納骨壇納骨、永久納骨、遺骨保管納骨の3種類があり、納骨の方法もそれぞれ異なりますので、あなたに合った納骨をお選び頂くことができます。津村別院が責任を持って遺骨を保管致しますので、安心して納骨して頂けます。ロッカー式のお墓です。浄土真宗本願寺派の門信徒、僧侶、寺族の方に限ります。(北御堂ホームページより)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725



お盆のお参りについて

お盆にお勤めするお経は、正信念仏偈と左記の 四句念仏・回向 としてご文章です。どうぞ 有縁の方々と一緒に唱和下さい。

なお、人生講座はお休みです。9月の人生講座は13日。講師は福間玄猷師です。

念佛 律由 平調

南无阿彌陀佛

南无觀世音菩薩

南无大勢至菩薩

南无清淨大海

表菩薩

願以此功德 庄严佛刹土 上报四重恩 下济三途苦 普皆回向者 悉发菩提心 随喜阿弥陀 上尽轮回苦 离生老病死 得证阿耨多 三藐三菩提 南无阿弥陀佛

西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十五条の三)

ひとりひとりが、はっきりとした信念もなく、マスコミに振り回され、エセ宗教に踊らされ、お金のためならどんなことでもしてしまいう人間が増えてきたら、日本はどうなるでしょう。世界中の国からつまはじきされきつと孤立してしまうでしょう。国内では次々に家庭が崩壊し、自殺や一家心中・犯罪が急激に増大することでしょう。そうなると当然、権力者は、いわゆる国体を護持するために国民の思想を統一しようとしています。こういう動きは日本のみならず 世界各国の歴史の中で、何度も繰り返されたことです。この裏には、長い混乱に疲れた民衆の間に、一挙に問題を解決してもらいたい! 希望を与えてもらいたい! と、英雄 の出現を待ち望む風潮がありました。しかし 英雄 の出現は、その国をさらに不幸にしました。民衆が真実でないものに頼り、大義という名のもとに、どんなことでもやる鬼 あるいはロボット になっているからです。

今日の状況は、こういう意味で、とても危険です。今日の問題は、私達一人一人が、一切衆生を救わんとする阿弥陀如来に出会い、真に目覚めて、息のながい努力によって解決されなければなりません。

※1988年3月 西福寺だより 掲載

いしかわきんや 石川欣也先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

九月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL:072-6222-3725

豪雨と地震に見舞われた夏が過ぎ、穏やかな秋の訪れを願う毎日です。
皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十一年九月のご案内を申し上げます。

第二百十四回

人生講座

日時 九月十三日 日 昼二時～四時
講師 本願寺派布教使

福間 玄猷 師



■福間 ふくま 先生、三十八歳。当山西福寺住職の実弟です。十三年前、広島県三次 みよし 市の源光寺様に養子入寺しました。毎年九月に遠路はるばるご出講いただいています。お話が分かりやすく聞きやすいと好評です。
■お誘いあわせの上、ごぞってお参り下さい。

秋の一日研修

西福寺門徒会・仏教婦人会合同開催

親鸞聖人750回大遠忌を平成23年に控え、西福寺では、これまででも聖人ゆかりの地を訪ねてまいりました。本年は、親鸞聖人が法然上人とお出遭いになり、阿弥陀さまのご本願に帰入する契機となった百日に及ぶ参籠の地、紫雲山頂法寺「六角堂」です。六角堂参拝に先立ち、東山「大谷本廟」へもお参りします。また、六角堂前の「梅の花」で昼食をいただきます。帰路、サントリー山崎蒸留所へ立ち寄りします。全行程、バスで移動します。どなたでもご参加いただけます。謹んでご案内申し上げます。

【日時】 9月14日(月) 朝9時 茨木観光(東太田3-2-2) 出発、夕方4時半頃帰着。
【参加費】 五千円 【申込締切】 9月6日(日)

※参加ご希望の方は、住職までご連絡下さい(電話072-6222-3725)

彼岸会コンサート

清風宝樹をふくときは
いつつの音声いだしつ
宮商和して自然なり
清浄勲を礼すべし



西福寺仏教婦人会9月の例会は、彼岸会ひがねえ コンサートです。トロンボーン奏者の鈴木洋一郎さんをお迎えします。虚無僧尺八にスイス人ジャズピアニスト・パーカッションを加えた異色のコラボレーションをお楽しみください。
当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。運営協力金として千円、ご負担ください。
佛説阿弥陀經 のお勤め後、ご鑑賞いただけます。お楽しみください。

日時 9月20日 日 午後2時～3時半
場所 西福寺本堂

西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十五条の四)

この 十七条憲法 は、国民のために説かれたものではありません。国民を治める官僚 役人 のために、その心構えを説かれたものです。私情や私利私欲を捨てて公務に励めよ！と。役人が、自分の気に入ったことや得になることばかりやっていると、国民はたまったものではありません。当然、誰も従わなくなり、反乱が起きます。日本のみならずフランスやロシア・中国等々の革命、最近ではアフガニスタンやニカラグア・パナマの混乱も、同じことが言えそうです。

家庭でも 地域社会でも 複数の人間が集まったところには、同じことが言えます。私情や私利私欲を捨てて公務に励む とは、〇〇が〇〇として、〇〇らしくやる ということです。〇〇のところ、大人・父親・母親・先輩・兄弟・上司・社長・会長等々、自分の置かれた立場を置き換えてみたら、はっきりとします。親が親らしくないことをやっているとは家庭は乱れます。大人が大人らしくないことをやっているとは、社会は乱れます。

みんなが幸せになって欲しい！ という仏の願いが、私情や私利私欲を捨てさせ、〇〇を〇〇らしくさせてくれるようです。

※1988年4月 西福寺だより 掲載

石川欣也先生の
法話のダイヤル 0743-53-4488

十月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 072-622-3725

一雨ごとに暑気が和らぎ、秋が深まってまいります。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年十月のご案内を申し上げます。

第二百十五回

人生講座

日時 十月十八日 日 昼二時～四時
講師 本願寺派布教使

三浦弘動師



■三浦 みうら 先生、五十歳。千葉県船橋市。日本自転車振興会在職中に情緒障害児短期治療施設 るんびに学園 建設助成の窓口として誠心誠意対応していただきました。このことが縁となり、中央仏教学院で学ばれ、平成十九年得度。お念仏のみ教えを弘めるべく、日々活動されています。

●本山を美しく(念仏奉仕団募集)

本山での清掃奉仕を通し、愛山護法の念を深める機会として、本年も「茨木東組念仏奉仕団」を募集いたします。門信徒の皆さま、多数のご参加をお待ちしております。

日時：2009年12月9日(水)～10日(木) 1泊2日

費用：15,000円(帰敬式ご希望の方は25,000円)

締切：10月31日(土)

集合：安穩殿(旧称参拝会館2階)・午後12時50分
宿泊場所：京都東急ホテル

※お申し込み・お問い合わせは西福寺まで(電話 072-622-3725)。

【持ち物】聖典・念珠・門徒式章・健康保険証・ぞうきん1枚・筆記具・雨具・洗面具・清掃奉仕できる服装(エプロン・作業服・軍手・靴)など

津村別院・大谷本廟

参拝ください

北御堂の名で親しまれている津村別院 大阪市本町 では来る11月11日～16日の6日間、報恩講が勤まります。13日速夜法要 午後1時半 に任職が出勤いたします。泉仙の精進料理をお召し上がりの後、参拝・お聴聞させていただきます。

なお、お料理をいただくには事前に申し込みが必要です。ご希望の方は 10月25日までに任職までご連絡ください。

京都東山・大谷本廟では来る10月12日～16日の5日間 親鸞聖人750回大遠忌法要が勤まります。14日速夜法要 午後2時に任職が出勤いたします。参拝される方は、西本願寺北境内地駐車場より無料循環バスをご利用ください。

お問合せ 072-622-3725

西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十六条の一)

十六にいわく 民を使うに時をもつてするは、古いにしえの良き典のり規則・手本なり。ゆえに、冬の月には間いとま間あり、もつて民を使うべし。春より秋に至るまでは、農桑＝農業と養蚕の節ときなり、民を使うべからず。それ農たつくらずば何か食らわん、桑こかいせずば何をか服きん。

この章は、課役かえき＝義務としての労働のなくなった今日では、とても抵抗を感じる章です。

このような章を掲げなければならなかったころを見ると、それまで、強大な武力を持った豪族達が、自分の都合だけで、民百姓をこき使っていたのでしよう。

太子没後二十三年にして、大化の改新が起こり、唐を手本とした国家建設が始まりました。税制も租そ＝地租としての穀物・調ちよう＝営業税としての織物・庸よう＝労役が、一定の基準をもって定められました。太子の願いが受け継がれたわけです。

※1988年6月 西福寺だより 掲載

石川欣也先生の
法話のダイヤル 0743-53-4488

十一月のご案内

T567-0012
 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL 072-567-0012 FAX 072-567-0013

秋の深まりとともに、朝の空気が凜としてきました。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十一年十一月のご案内を申し上げます。

◎ 人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 称名寺(総持寺) 10月17日14時・19時 / 18日9時半
- 安楽寺(太田) 10月24日13時半 / 25日13時半
- 本照寺(富田) 11月1日14時 / 2日14時
- 西法寺(中村) 11月5日13時
- 光明寺(総持寺) 11月9日14時
- 万徳寺(氷室) 11月14日14時・19時 / 15日13時半
- 常見寺(東五百住) 11月17日14時 / 18日10時・14時 / 19日10時
- 西光寺(西河原) 11月23日14時・19時
- 常称寺(総持寺) 11月27日14時 / 28日14時
- 称念寺(高田) 11月28日13時半 / 29日13時半
- ※西福寺は12月5日(土)14時・19時 / 6日(日)10時です。

『癒し散策 茨木の寺院』刊行

* * *

茨木市観光協会調査委員の加藤秀治様が、足掛け2年の歳月をかけ、この度『癒し散策 茨木の寺院』を上梓されました。

市内、「八十一ヶ寺の住職と対話し、寺の縁起・寺にまつわる物語を収録」した力作です。当山にもお立ち寄りいただき丁寧な取材に敬服いたしました。西福寺の縁起・寺院活動など、分かりやすく記載されています。茨木の宗教都市としての側面に光を当てた歴史再発見の一冊です。価格は2500円+税、清風堂書店より発売中。

※一般の書店、またはネット販売でご購入いただけます。書名で検索してみてください。
 ※お問い合わせは西福寺まで(電話072・6222・3725)



本山成人式のご案内

新成人の皆さん、おめでとうございます。本願寺では明年1月10日(日)に皆さんが新成人となられたことをご縁として、親鸞聖人のみ教えにであっていただきたく、本山成人式を開催いたします。ぜひご参加ください。案内チラシよりお待ちしております。

●日時 2010年1月10日(日)

10時40分(記念講演・式典)

13時40分(祝宴(京都東急ホテルにて))

●会場 本願寺(下京区堀川通花屋町下ル)

●参加費 2,000円

●式典のみの参加は無料

●帰敬式受式冥加 3,000円

●お楽しみ券/希望者のみ

●募集締切 2009年12月24日(木)

※お申し込み・お問い合わせは西福寺まで

電話 072 6222 3725



西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十七条の一)

十七にいわく。それ事は独り断 だんニ決定する ずべからず。必ず衆とともに 二皆でよろしく論ずべし。小事はこれ軽ろし。必ずしも衆とすべからず。ただ大事を論ずるにおよびては、もし失 あやまち あらんことを疑 おそる。ゆえに衆とともに相 あい 弁ずれば、辞 ことば すなわち理を得ん。

十六条は 特に申し上げたいこともありませんでしたので、最後の十七条に移ります。

今日、しばしば使われる 独断 は、ここから出ています。

それまで 何もかも 国家的に重大な事さえも、権力者の 独断 で決まっていたのでしよう。全てそうだったとは思えませんが、衆議皆で議論すること によって決めるという方法が まだルールとはなっていないなかつたようです。

ところで、衆議によって物事を決めるのは、間違い 二失 を恐れるからだという基本を、私たちは忘れてはいないでしょうか。

※1988年7月 西福寺だより 掲載

石川欣也先生の
 法話のダイヤル 0743-53-4488

十二月のご案内

T567-0012
茨木市東太田二丁目九三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派
TEL 072-6222-3725

今年も残り少なくなってきました。
皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十一年十二月のご案内を申し上げます。

ほう おん こう ほう よう こん しゅう

報恩講法要厳修

日時 十二月 五日 土 昼二時・夜七時

六日 日 朝十時

講師 真宗大谷派 満覚寺住職

廣岡兼純師

■報恩講は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿弥陀如来のお救いをいただくことをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。私たちにとつてもっとも大切なご法縁といえます。本願寺ホームページより

■もう、ご存知でしたか。西福寺ではお参りの方のために、椅子を用意しております。足のしびれや膝の痛みに悩まされることなく、じっくりとお話を聞いていただけます。

●報恩講の準備にご協力下さい

* * *

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。

お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしく願います。

12月1日 (火) 午後7時 於西福寺本堂 おみがき (仏具を磨きます)

12月4日 (金) 午後7時 於西福寺本堂 おかざり (供物をそなえます)

*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-6222-3725



親鸞聖人を偲ぶ報恩講

12月5日 土 夜7時から初夜法要では、奉讃太子作法 ほっさんだいしさほう が勤められます。るんびに太鼓のメンバーによる雅楽演奏の中、諸僧入堂。正信偈のお勤め後、諸僧は立ち上がり念仏と共に散華、色とりどりの花が舞います。回向句がとなえられ、諸僧が退出して法要は終わります。

引き続き、親鸞聖人物語のビデオ鑑賞10センチ足らずのかわいらしい紙粘土人形が、生き生きと親鸞聖人とご生涯を描き出します。そして、

ご講師の廣岡先生より
節談 ふしだん 説教
という抑揚とリズムをつけた浄土真宗独自の
ご法話を頂戴します。
お誘い合わせの上、
お参り下さい。



西福寺アーカイブス

十七条憲法 (第十七条の二)

テレビの 武田信玄 などに、しばしば軍議ぐんぎ=作戦会議 の場面が出てきます。大将を中心にして、おもだった将が、考えを述べます。自分たちの命運がかかっているのですから、時には意見が対立して、激論になります。その間大将は黙って聞いています。そして、最後に大将は、自分の責任において決断を下すのです。

戦後の 多数決 の中で育った者には、まさに封建的と思えない場面です。

しかし、封建的という言葉で、簡単に捨て去ってしまうほど、現在の 多数決制 は素晴らしいのでしょうか。どちらにも、一長一短があるように思えてなりません。

制度はどんなに立派であっても、それを運用する者が愚かであっては、何にもなりません。ムードに酔わされ、流行に流され、フィーリングにまかされ、はっきりした信念もなく、自分の利権だけを求める者が増えてくるとしたら、多数決制 も恐ろしいものになってしまいます。

もちろん、軍議方式 に戻せといっているわけではありません。長が愚かであれば、こんなに恐ろしいことはないのですから。ただ、今日この方式を採用している会社は、数多くあるようです。

※1988年10月 西福寺だより 掲載

いしかわきんや
石川欣也先生の
法話のダイヤル 0743-53-4488